

2016年3月の山西省

3月に入り、山西大学では新学期がスタートしました。

日本では3月に卒業式があり、4月に新学期がスタートですので、不思議な感じでした。気候もだんだんと温かくなり、空気もよくなってきました。

3月は中国人学生との交流も盛んに行いました。その中でやはり頻繁に中国人学生が口にするのは「アニメ」です。最近の流行はワンピース、ナルト、銀魂、進撃の巨人などらしいです。私自身、これらの作品は一回も見たことがなく、そう言うと、中国人学生たちに驚かれます。日本の芸能人ですと、山Pこと山下智久？やドラマ「半沢直樹」の主演を演じた堺雅人、石原さとみなどが中国では有名です。中国の三十歳くらいの方だと「東京ラブストーリー」、もう少し上のかたですと高倉健、中野良子といったフレーズが出てきます。

中国での高倉健の代表作は「君よ憤怒の河を渉れ」です。文化大革命後初めて中国国内に入ってきた外国作品ということで人気が高いそうです。私も中国に来てから初めてこの作品を見ました。逆に日本人になじみのある中国映画ですと「レッドクリフ」やジャッキーチェンの「ポリスストーリー」、「少林サッカー」などがあげられると思います。芸能通になる必要はないですが、会話の引き出しに知っておくと便利だと感じました。

またこちらでの生活の中で、自分自身のことを聞かれることよりも日本のことを聞かれることのほうが多い気がします。日本料理、日本のアニメ、化粧品、教育、仕事環境、観光地、歴史などがよく聞かれます。自分の好きな分野でよいので詳しくなっておくと、交流の手助けになります。地名や人物名は日本語と同じ漢字を使っている場合でも読み方が違うので、そこも注意が必要です。日本のことを中国語で分かりやすく説明することが、私自身の今学期の目標でもあります。

大久保豪



タイからの留学生の誕生日会にて



最近調子が良い太原の空